

「ベトナムのグリーン経済に向けた新たな取組」

～7月1日よりハノイのガソリン車規制と急ピッチで進む交通インフラ整備及び急拡大するEV市場～

ハノイデスク 中川 良一

ベトナムのグリーン経済移行と日本の支援

ベトナムは気候変動対応を目的とした、グリーン経済への移行と発展を積極的に進めています。2030年までに温室効果ガス排出量を BAU (Business As Usual: 通常発展シナリオ) 比で 43.5% 削減、そして 2050 年には 0% 達成を目標としています。この実現に向け、温室効果ガス排出削減、再生可能エネルギーの拡大、グリーン交通推進、エネルギー効率向上等、さまざまな政策を実施しています。日本もこの取組みを支援しており、本年 3 月 30 日 JICA (国際協力機構) を通じ総額 500 億円を上限とする円借款貸付契約が結ばれ、日本の環境技術を利用した支援、衛星データを活用した農業分野の CO₂ 削減、農林廃棄物より作られたバイオ炭による再生可能資源による CO₂ 削減等が含まれています。

さてハノイ市は、近年世界の大気汚染都市ランキングでトップ 10 に入り、直近では世界主要都市で第 2 位の汚染都市である



ハノイの旧市街

と報告されています。PM2.5 平均濃度は WHO 基準の約 9 倍となり、大気汚染指数 (AQI) は 150～170 超で、健康に影響が出るレベルとなっています。

ハノイ市の大気汚染対策と交通インフラの急速な整備



出所：ハノイ市人民委員会

ス等の公共交通の充実のため道路整備が急速に進められています。長期間立退き問題で停滞する市内環状道路の建設も一挙に進んでおり、環状 2.5 号線 (年内完成)、1 号線 (年内完成)、3.5 号線 (2030 年

ハノイ市は、大気汚染改善の取組を各種実施しています。2026 年 6 月に公表された市内の低排出ガス区域実施計画に基づき、環状 1 号線の内側を対象としたエリアを 3 段階に分け、ガソリン車両を規制する試験が 7 月 1 日より始まり、2030 年にはさらに規制範囲を拡大する予定で、車両の電動化、交通渋滞の改善とバス

完成) および 4 号線建設 (2027 年末完成) を目指しています。市内の鉄道は、既存の 2 路線 (完成迄 10 年以上) に加え、2026 年 6 月総延長 303.5km の 5 路線が同時着工され、4 年後の完成を目指しています。また 2026 年 4 月、ハノイ市・バクニン省・ハイフォン市・クアンニン省間 120km を時速 350km で結ぶ鉄道が着工され、今までの 3 時間の移動時間が 20 分に短縮されます。投資額は 50 億 USD を超え、2028 年の完成を目指しています。このプロジェクトは、電気自動車で有名な Vingroup の投資で進められます。

ベトナムにおける EV (電気自動車・電動バイク) 市場の急拡大

現在、ベトナムの電気自動車 (EV) 市場は急速に拡大しており、建設省の統計によると 2025 年第 3 四半期末には、全国で約 18 万 3,240 台の電気乗用車と約 1,000 台の電気バスが運行されています。2025 年の EV 新車販売率は 38% に達し、タイ (21%)、インドネシア (15%)、日本 (3%) を上回りました。

代表的な EV 車は、VinFast: Minio (約 168 万円)、Hyundai Ioniq 5 (約 812 万円)、BYD Dolphin (約 355 万円) などがあります。



VinFast Minio Green 出所：VinFast HP

また電動バイクは、MotorCycles Data の発表によると、2026 年の最初の 5 か月間で、ベトナムは中国およびインドに次ぐ世界第 3 位の市場となり、前年同期比 85.5% 増の成長を記録しました。VinFast はトップシェアで、2025 年に 406,453 台販売しました。2026 年 3 月には月間販売台数が 90,000 台を超え、過去最高を記録しました。また、2026 年最初 5 月の累計販売台数は前年同期比 149.1% 増となりました。主な電動バイクは、VinFast (約 9 万 4 千円～25 万円) Honda (約 12 万 8 千円～35 万 3 千円)、Yamaha (約 23 万円) 等です。電動化に伴い、充電インフラ整備も進められ、VinFast は全国に 15 万基を超える充電ポートと約 13,577 か所の充電拠点を展開し、2026 年に新たに 99 か所の「スーパー充電ステーション」を新設する計画です。また中国そしてベトナム企業による充電ステーションの整備も、発表されています。

*レート：1 円 = 160 VND

ひょうご海外ビジネスセンターは、世界 10 カ所に海外展開現地相談窓口として「ひょうご国際ビジネスサポートデスク」を設置しています。本通信は、毎月 1 回、各デスクから寄せられる現地トピックスを順にお届けするものです。

【発行 公益財団法人ひょうご産業活性化センター ひょうご海外ビジネスセンター】